

モウー!
親子そろって牛年生まれ

今年の干支、牛年生まれの人は、718人(12月1日現在)、ご夫妻は13組
います。その中から、同居親子2組に今月の表紙を飾っていただく
とにしました。

CONTENTS

- 2~3ページ 年頭のあいさつ
- 4~7ページ 少年の主張大会
- 8~11ページ まちのわだい
ふれあいグラウンドゴルフ大会ほか
- 12ページ 新成人に贈るメッセージ
肥満を防ごう
- 13ページ こんにちは保健婦です
- 14~15ページ みんなのひろば
はっぴーバースディ ほか
- 16~19ページ 暮らしのインフォメーション
- 20ページ まちの伝説&むかしばなしほか
西金田のむかしばなし



田中 隆さん (S24年3月生まれ)
房江さん (S24年6月生まれ)
稔さん (S48年7月生まれ)

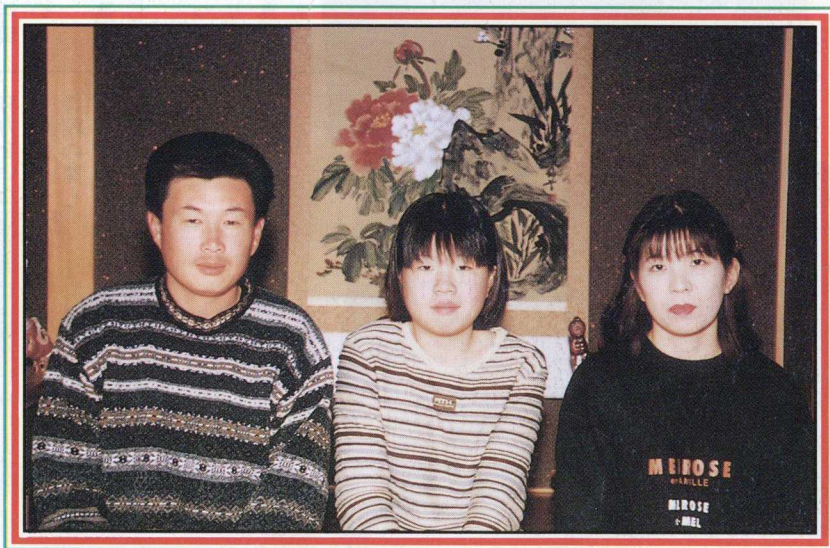
新町三丁目にお住いの田中さんご一家の家族構成は、3
人の息子さんとおばあちゃんの6人家族。
ご夫婦のなれそめは、隆さんが勤めている会社の広島時
代に知り合い、「熱烈恋愛」の末にゴールインだとか。(本
人談)

稔さんは、次男として生まれ、現在看護師として活躍し
ています。

食事には必ず、お茶代わりに牛乳を飲んでいるそうです。

「牛年生まれは性格がおっとりしているのかないよね」
と言う、神崎三の木戸さん夫妻と長女が牛年生まれです。
家族構成は、一女二男の子どもたちと父母のあわせて7人
家族。小学校の同窓生どうして23歳のときにご結婚。
翌年に美樹さん(小5)が誕生したとのこと。
今年の目標はお聞きしたところ、「別に目標はないんで
すが、いつもの年と同じように過ごしたいです」と話して
いました。

木戸 和久さん (S36年6月生まれ)
美由紀さん (S36年9月生まれ)
美樹さん (S60年5月生まれ)



平成九年 年頭のごあいさつ

牛年にちなんで

おめでとうございます。ふるさとに町制が施かれて昨年で八十年。新学制による金田中学校今春は五十回の卒業生が希望に燃えて巣立ち、成人式も今月十五日に予定されています。故郷に春がめぐって参りました。

今年の干支は乙丑、牛年です。かつて牛は身近な家畜で、大切な労働力であり、家族の一員として故郷の土地を耕し続けてきました。

“天神様の道”の碑は、菅公が宰府へ左遷されたとき、牛に乗ってこの地を通ったという伝説にちなんで昨年、通学路に建てました。

エジプトやインドでも「聖牛」。中国でも古代の聖人「神農」は騎牛。聖人伝のなかの老子は謎の多い人ですが、「五千余言の道德経」を残して、白い車を青い牛に引かせて異域に去ったと伝えられています。

現在研究されている老子の思想のなかで、**安**と**大器**晩成という語があります。この世界を生み出した根源の力とは「母なるもの」であり「谷神」水の性である。柔らかな水も時間をかければ岩を砕く。また「大仕事(大器)は、時間をかけないとできない」…拙速の戒めでもあります。奥深い柔らかな女性のしなやかな強さ、戦後五十年の平和を支えたのも、この女性的な力であったとも申せましょう。

平均寿命も女性が永い。(わたしは男ですが。)

現在の世界は、急がしく変化しています。金と物とエネルギーは人とともに日夜地球を駆けめぐり、進歩と効率の価値観は逆に自分の欲求不満と自我過剰。一方では廃棄物処理に悩むというエコロジックの矛盾も生んでいます。

かつて学校だけに限られていた「教育」が「学習」と変わり、生きることは学ぶことという一生をかけて個人のいのちを創造する視点になりました。“ゆっくり急げ”という智慧です。

怠らず行けば千里のはとも見む牛の歩みのよし遅くとも

金田町にはいま牛はいませんが、人々は毎日、牛乳を飲んでいます。

今年も喜び多い年でありますように。

教育長 田中貴美男



本年も福祉センターを拠点とし行政、福祉団体との連携を密にし、住民の期待に応えるべく福祉協議会スタッフ一同、この福祉センターが、金田町の明るい福祉のまちづくりの中核に、そしてボランティアなどの活動センターとなるよう一層がんばってまいりたいと思います。

皆様方のご多幸とご繁栄をお祈りいたしますと共に社会福祉協議会へのご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

社会福祉協議会から

あけましておめでとうございます。

社会福祉協議会では、町民のニーズに応えるため、ふれあい給食サービス事業を始めとしていろいろな事業に取り組んでおります。

福祉センターも平成4年9月オープン以来、4年を経過いたしますが多数のご利用をいただいております。厚くお礼を申し上げます。



皆様、あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはお元気で、すがすがしい新年を迎えられたことと拝察いたします。

昨年は新庁舎の完成と合わせて町政施行八十周年記念という町政史上に残る感動いっぱいのすばらしい記念行事を町民総参画の中で開催することができました。

これも一重に、常日頃から「新生かなだの町づくりは町民の知恵と汗でやろう」と、がんばっておられる各行政区各種団体やボランティア団体など、全町民のご支援・御協力の賜物と深く敬意を表する次第です。

さて、いよいよ「地域改善対策特定事業」(旧同和対策法)も本年三月で失効し、四年後の平成十三年度は産炭地関係諸法が失効します。

このことは旧産炭地の自治体のすべてにはまるとは、行政も町民も崖淵にたまたされ、第二の開山を迎える状況となり、まさに「まったなし」の危機的状況に直面します。

しかし、私はこのような危機の時代が到来することを充分予測し、平成元年より新しいスタイルの行政運営と新生かなだのまちづくりビジョンを策定し、議会・行政区、各種団体などの御協力をいただきながら、平成四年度より今日まで年次計画でハード・ソフト両事業を着々と進めて参りました。おかげをもちまして、今や九州の中でも数少ないまちづくりの先進町に挙げられるまでになり、

北は北海道から南は鹿児島島の各市町村役場や議会から、ふれあい塾やまちづくりの基本スタンスの視察など、本町も行政視察団をお迎えすることが年々数多くなっています。

本町の町づくり、活性化はこれからの若いよ本番です。このような意味から今、全国的にも注目されています。町民と行政の共同作業によるまちづくりをますます機能化させなければなりません。

私は昨年十一月の町長選挙におきまして、町民の皆様の大変な御支援によって五期連続当選の栄に浴することができましたが、引き続き私のすべての知恵と行動を出して、全力でがんばり抜きたいと決意を新たにしています。

おかげ様で気力・体力は充分です。今年も牛年、いそがず、あわてず、そして一歩一歩しっかりと大地をふみしめ、確かな歩みをしなればなりません。時と場合によれば猛牛のような速さで走ることも求められます。

私も町職員もがんばります。どうか町民の皆様より積極的な町政への参画とご健勝、そして、ふるさと金田町のかぎりなき発展を願って、

町長 大島陸雄

平成九年の年頭にあたり、議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。町民の皆さん、

あけましておめでとうございます。ここに、希望あふれる輝かしい新春を迎えるにあたり、皆様方のご情福とご繁栄を、心よりお祈り申し上げます。

私もお陰をもちまして、議会議長も二期目でございますが、常に議会の重責を痛感し、新たな決意の中で微力ながら円滑な議会運営と町政の伸展を期して、誠心誠意の努力を傾注してまいりました。

これもひとえに、町民各位のご支援とご協力の賜物であると、心から感謝の意を表する次第であります。

顧みますと、大正五年町政施行以来八十年余り、町執行機関はもとより町議会におきましても、その議権の伸展と地域住民の生活環境福祉増進の目的意識を持ち歩んできました。

しかしながら、町民生活の安定と福祉増進を図るには、今後幾多の重要課題が山積している様でございます。

本町や圏域の情勢も大きく変わりつつある今日、地域に根ざした魅力ある町づくりを推進し、急速に進んでいる高齢化社会を真剣にとらえ健康増進施設の充実した、ふれあいのある町、思いやりのある優しさを持った町づくりに、又、これからの本町は、名実と共に田川の要となつて、豊かな地域社会の建設に取り組みしなければならぬ

と存じますが、町民各位のご理解と御支援が、是非とも必要であり、議決機関たる我々町議会とい

たしましても町政の諸問題を慎重に審議し、町民各位のご期待に添う様な努力を致す決意でございます。



議長 属 公弘

御承知のとおり、地域改善対策に係る国の措置も、平成九年三月末で期限が切れ、さらに、産炭地域における措置法も、平成十三年に期限切れとなります。

又、先の国会では「地方分権推進法」が成立いたしました。この法律は五年間の時限立法で、国・県との関係を見直すものであります。本町も豊かで活力ある地域づくりと、住民ニーズに合った新しい時代に向けて進展をはかる事に成るわけでございます。

さて、金田町は人に優しい雰囲気のある景観づくりと、商店街の振興も町の活気を支える力です。

住みよい環境、明日に伸びる町づくりを目指して、皆さんと共に町政を推進して「調和のとれた町、暖かい心あふれる町」を、一歩一歩大切に踏み締め、私たち議会人は最善の努力をいたしてまいりたい所存であります。

町民の皆さん、どうか、本年も町政に対し、特段の関心とご理解ご協力の程を賜りますようお願い申し上げますと共に、金田町の郷土の栄光と、町民の皆様方のご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

11月26日の青少年健全育成講演会の冒頭に「少年の主張大会」が行われました。今月号では、この大会で発表された作文と標語を紹介します。

作文は小学5年生から中学2年生を、また標語は小学校5年生から中学1年生を対象に募集したもので、それぞれ6人の入賞者に対して表彰が行われました。



「いじめ」反対
中学校2年 柳沢佳代

最近、「いじめ」という言葉をよく耳にしますが、実際、自分自身の問題として受けとめている人は少ないのではないのでしょうか。

確かに、テレビや新聞などでいわれているほどのいじめは身近にはないかも知れません。しかし、暴力、不登校、身近なところでいじめの要素は、たくさんかかれています。

私は今、目の前でいじめられている人がいたとしても、止める勇気はないかも知れません。「やめて」という一言が言えないかも知れません。「自分には無関係であってほしい」と思います。そして、そんな自分に腹立たしく思うのです。

私と同じ気持ちの人たちがいる限り、いじめはいっこうに減らないのではないのでしょうか。

「いじめを苦に自殺」というニュースは、テレビや新聞などでたくさんとり上げられ、いろいろないじめ

をなくす運動が、私の身近なところで行われてきました。しかし、いじめによる自殺者は減ることなく続きました。

これは、いじめの側が、自分たちがいじめをしているということを自覚していない何よりの証拠だと思います。

いじめの側は自覚がないので、人をいじめてつらい思いをさせることができるのだと思います。

しかし、いじていることを自覚しながらも、いじめをしている人たちもいるのではないのでしょうか。その人たちは、いじめを苦に自殺

した人たちの「死」を、どのように受けとめているのでしょうか。命の尊さをどのくらい感じているのでしょうか。

しかし、いじめられている側にも、問題はあります。人間は、それぞれ個性があるのだから、人と違うところがあって当たり前です。自分という一人の人間を一つの個性として分かってもらえるように努力しなければなりません。絶対に死ぬことなんて考えてはいけません。自分の命を大切にしてください。今までの、いじめを苦になくなった人の命をむだにしないでください。今は苦しいかも知れないけれど、相談してください。私たち、友だちがいるんです。みんなで努力することが、いじめがなくなる第一歩です。

私たちが今できることは、いじめに気づいたら、注意をする勇気を持つことです。そして、先生や友達に相談することです。知らないふりや、見て見ぬふりをして無関心のままでいては、絶対にいじめはなくならないと思います。私たちの一言で、いじている人も、いじめられている人も、自分自身も救うことができるのではないのでしょうか。

ずっと続いているいじめですが、お互いの良いところを認め合い、間違ったところを指摘し合っていくなかで、はじめていじめはなくなるのだと思います。

友達の良いところを見つけることは、簡単そうに見えて、すごく難しいことではないのでしょうか。友達の良いところを認めることは、とても素晴らしいことではないのでしょうか。

良いところを認め合い、間違ったところを指摘し合うことは、友達だからこそできることだと思います。よいところを見つけることは、本当に友達を思いやっているからこそ、できることなのです。

しかし、友達の間違いを指摘することは、確かに勇気がいることです。しかし、私たちは、この先、これ以上の犠牲者を出してはいけません。そのためには必要な勇気だと思います。それによって、必ず救われる人がいるのです。良いところを認め合い、間違いを指摘し合える友達ができたとき、絶対にいじめはなくなると思います。

これからは、これ以上の犠牲者を出さないためにも、いじめがなくなるためにも、自分自身のためにも、前を向いて真剣に取り組んでいかなくてはならない問題です。

いじめを本当になくすためには、私たちがだれよりも、まず自分自身がいじめのことをきちんと認識することが大切だと思います。

「いじめ」
小学校5年 吉田基樹

みんなは、「だれがいじめしていない?」と聞くと、「していない」というだろう。しかし、そうだろうか? 小さいいじめでも、その人その人によってはかなりちがうから、小さいいじめでも、大きいいじめになることがある。

たとえば、身近において、へいきで「死ね」とか、「バカ」などのことを当然のように言っている。では、ぼくが経験したいじめについて書きます。

2年生のときだと思えます。いじめは、やさしい6年生が卒業して、新しい6年生がぶんだんのはん長になったときからでした。それからは、ぼくとA君は地ごくの日々でした。なぐられたり、けられたりされ、ポロポロにすぐにカバンがなりました。そんなときは、二人ではげましあいました。

ある日の雨あがり、「これを忘れてたまるか!」という、できごとがおこりました。ぶんだんのなかのいじめグループの同級B君に「ちょっと、カバンを持って」と言われてわたすと、目の前で笑いながらカバンをジャングルジムのてっぺんからどろ水の中に落としました。もうカバンはクシャクシャ。



教科書はピチヨぬれになり、ぼくはくやしくて泣きながら帰りました。だって、おじいちゃんが一生けんめいに働いて、やっと買ってくれたカバンをどろ水に落とされたからです。

このようないじめが続きましたが、3年生が卒業して中学に行ったので、やっと安心しました。

思いかえすといじめにあっているときは、それはもう悲しくて泣く日は数えられませんでした。だからぼくは、こんなつらいことを他の人にはさせたくないと思いました。これからはやさしい気持ちをもつことが、いじめをなくすことができると思います。

理想の金田町

小学校6年 荒木 瞳

私は、金田町の未来、こんなふうになってほしいと、理想の金田町を考えました。

まず、今の金田町の良いところは、自然がいっぱいあるところです。土手にも花を植えたりして、文字を作っているところが好きで、とても気に入っています。それから、公園や広場などがいっぱいあるところです。公園や広場があると、お弁当や遊び道具などをもって行って、一日中たたくつせず、めいっいっぱい楽しく遊べるし、自然や草花などと、ふれあえるのでいいなと思いました。そして、川や池にコイやフナがいっぱいいるところです。

私は、学校の帰り道、大きな、大きなナマズを見ました。見たとたん、「すっごく大きいな。」とびっくりしました。

最後に、友達がいっぱいくれるところです。ふれあいじゅくなどで、三泊四日とまって、いっしょにお食事を作ったり、いっしょにお風呂に入って、いっしょにねる。そういうことをしていると、いっぱいお友達ができるので、良いところだと思います。

次に、今の金田町の悪いところは、道路や川などにゴミがいっぱい落ちていることです。

時々、自転車やスクーターなどが落ちています。そういうゴミなどは、町に住んでいる人たち、全員でゴミ拾いをして、解決したらいいと思います。

それから、12時のサイレンが、空しゅうけいほうみみたいな音でいやです。だから、みんなが楽しくなるような音楽を流せば、

みんなが楽しくなっていくと思います。そして、用水路が大きすぎます。小さい子どもたちが遊んでいて、こけて、おぼれ死ぬ場合もあるので、用水路の上にコンクリートでふたをしたらいいと思います。

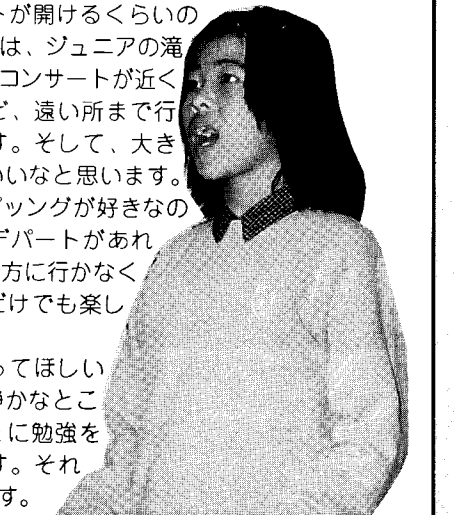
最後に、歩道や信号などをつくってほしいです。私たちの通学路にも、横断歩道はあるけれど、信号がない場所があります。そこは、いがいと車などが通るので、すごく危ないです。ほかにもそういう所はいっぱいあるので、つくってほしいです。

最後に、私の理想の金田町は、ゴミが一つも落ちていなくて、交通事故がなく、そして豊かな暮らしができるような町が理想です。

それから、コンサートが開けるくらいの会場もほしいです。私は、ジュニアの滝沢君のファンなので、コンサートが近くであれば、福岡市など、遠い所まで行かなくてすむからです。そして、大きなデパートがあればいいなと思います。女子たちは、ショッピングが好きなので、近くにそういうデパートがあれば、わざわざ伊田や直方に行かなくてすむし、見て回るだけでも楽しいからです。

また、図書館もつくってほしいです。そうすれば、静かなところで、友達といっしょに勉強をしたりできるからです。それが私の理想の金田町です。

本当にそうならば、すっごくうれしいです。



将来の金田町

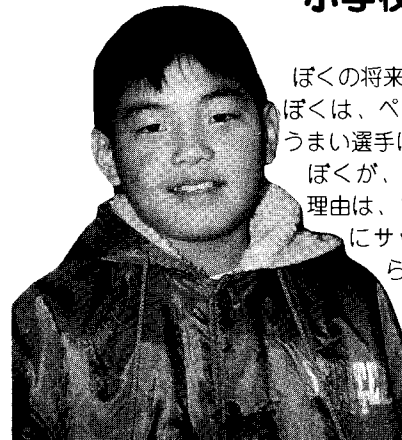
小学校5年 佐竹香澄



私は自分が住んでいるこの町が好きです。なぜかという、お祭りや夜市など楽しいことがあるからです。私は、お祭りでしし樂をおどっています。私のおばあちゃんも小さいときおどっていたそうです。ずっと昔からしし樂があったと聞いて、人から人に伝えられた歴史があるんだなあ、と思いました。自分たちが大人になったとき、自分の子どもたちに伝えて、それから先もずっとそれを繰り返すのだと思います。この町には、ふれあいじゅくもあるし、プールもあります。ほかの町にないようなりっぱなものがあることは、とてもうれしいことです。いろいろなものを残してくれたから、金田町はこれから先、とても良い町になるような気がします。でも、子どもばかりのためでなく、身体の不自由な人や、お年寄りが喜んでもらえるような町になると、もっとすばらしいと思います。町を変えようとするのは、自分一人だととても無理だけど、たくさんの人たちの協力があれば必ずできると思います。私は大きくなって、この町でずっとくらして、人のために何か役立つようなことをしたいと思います。今は、人のために何ができるかわからないけど、がんばってそれをさがしていきたいと思います。金田町にずっと住んでいきたいと、みんなが言うような町になれば最高だと思います。

ぼくのしょうらいの夢

小学校5年 池田道雄



ぼくの将来の夢は、Jリーガーです。ぼくは、ペレみたいな、ドリブルのうまい選手になりたい。ぼくが、サッカーを好きになった理由は、1年生のころに、お父さんにサッカーボールを買ってもらったときから、とても好きになった。それから、ぼくは少年サッカークラブに入りたくて、いつも玉ひろいに行っていた。そして、サッカークラブの先生から、「サッカー、入りたいんか。」と、言われた。「うん。」それから、サッカークラブに入ってサッカーをした。最初は楽しかった。でも、年上の人から、けいべつされたり、笑われたり、このサッカークラブをやめたい気分だった。そのときは、2~3年生のころだった。

そして、1~2年たって、今のぼくは、今はサッカーがとてもとても楽しい。ぼくは、小さいときからスポーツは大好きだ。ぼくの得意のシュートは、ボレーシュート。センターリングからのボレーは、あまりはずしたことができない。ドリブルもふつうだし、キック力もけっこうある。でも、ぼくのお父さんは、ラグビーをした方がぜったいいいと、いっている。体かくもいいし、体力や力もあるから、ラグビーに入れという。でもぼくは、サッカーの方がいいという、サッカーをしている。それだけ、ぼくはサッカーが大好きなんだ。ぼくの友達も、これくらいサッカーを好きなやつがいる。その人を、ライバルとして、練習している。その人は、サッカーを大好きだから、それほど強い。ぼくは、中学生になっても、高校生になってもサッカーをして、Jリーグに出たい。でもそのときには、Jリーグはなくなるかもしれないけど、ぼくはそれでもいいから、しょうらいは、サッカー選手の夢なんだから、その夢だけははたしたい。もし、Jリーグがあったとしたら、ぜったいにJリーグに入りた。どこのチームに、入りたいかという、どこでもいいから入りたい。サッカーができれば、どこのチームでもいい。ぼくは、サッカーが好きだから。

福祉が充実した金田町

小学校6年 辻智代



私は、みんなが幸せに楽しく暮らしていくには、福祉が充実していたらいいと思います。だから、福祉が充実した町になってほしいのです。そうしたら、みんなが安心してすごせる町になると思います。どうすれば、福祉が充実した金田町になるか考えてみました。良いところでは、いちばん始めに思いついたことは、「福祉センター」があることです。福祉センターでは、室内がちゃんと歩きやすくなっていたり、デイサービスというものをしている、「いいところだな。」と思えるところです。そこにいる人に聞くと、「とてもいいところで、健康にもいいよ。」と言ってくれました。だから、幸せに楽しく暮らしていける場所だと思います。二つ目は、ボランティアの事です。なにか不自由な人たちは、ボランティアの人がいると、とてもうれしいと思います。いっしょになってお話をしたり、洗濯をしてくれたり、身の回りのお世話などをしてくれるからです。こんなことをしてくれると助かるし、ねたきりもなくなると思います。だから、これもいいことだと思います。

三つ目は、相談にのってくれる人がいることです。いやなことなど、心の中にためておくと、気が重くなり、最後には心の病気になるてしまいます。でも、その前にだれかに相談して、解決できたらいいと思います。相談にのってあげるということは、人の幸福を呼ぶことにつながると思います。次に、不自由なところなどを考えてみました。一つ目は、そう合病院の事です。急な病気や大けがなどのときに、そう合病院が遠くにしかなかったら、大変だと思います。それにもし、そう合病院があったとしても、日、祝日は、

外・内科の先生はいても、せんもんの先生がいないときが多いので、急にいたみだしたりしたときは大変です。だから不自由だと思いません。二つ目は、点字の事です。いろいろなところを歩いていて、点字が少ないから目の不自由な人は、大変だろうなと思ったことがあります。目が見えないと、外を歩くときは白いつえを使ったり、点字をあてにして歩くので、点字が少ないと不自由だと思って、不自由なところにあげました。三つ目は、自然の事です。自然がたくさんあれば、あるほど幸せだと思います。いくら、いろいろなものがととのっていても自然がないと、幸せには思いにくく、何かものたりない気がすると思います。だから、みんなで自然をもっと大切にして、増やしていきたいです。こういうことから考えると、みんなが手をつなぐこと、つまり協力し合うことが一番大切なんだと思います。それに自然を大切にすることが、みんながいい町だと思う第一歩だと思います。これからは、福祉が充実した金田町にするために、自分のできる、せいっぱいのことをしたいです。

青少年健全育成標語 ●入選作品●

- 手をつなぐ やさしい心 わすれずに 佐竹香澄さん(小5)
- だれにでも やさしい心を もつ子ども 吉田明加さん(小5)
- そのいたみ じぶんじゃないと わからない 田中環江さん(小5)
- やめましょう 自分がされていやなこと 辰島和菜美さん(小5)
- かんがえて なかよくしましょう だれとでも 坂田純平くん(小6)
- やめよう夜ふかし するないじめ 松尾勇希くん(中1)

あなたの身近な出来事・話題などお寄せください。
お待ちしております。
詳しくは広報担当まで。☎22-0556

早く咲けばいいな。

子どもにやさしいまちづくり事業

11月27日に、高齢者ふれあい農園「青葉会」メンバーと、小学校5年4組の児童28人が、小学校運動場の花壇2カ所に葉ボタンの苗約80本を植え付けました。

これは、「福岡県子どもにやさしいまちづくり事業」の一環で、お年寄りと児童のふれあいを通して思いやりの心を育み、児童の健全育成を図るのを目的として取り組んでいるものです。

この日初めて花の植え付け作業を経験する児童もいて、きれいになった花壇を見て、みんな花の成長を楽しみにしています。



家内安全! 商売繁盛……よ〜お!!

恵比寿神社のえびす祭り

師走の恒例行事のえびす祭りが、12月2日の夕刻から翌3日の早朝にかけて、菅原神社境内にある恵比寿神社で行われました。

参拝者のお楽しみは、何と言ってもメインの福引き。商工会、ママさんバレーチームの露天や役場の餅つきありと、夜遅くまでにぎわいをみせていました。

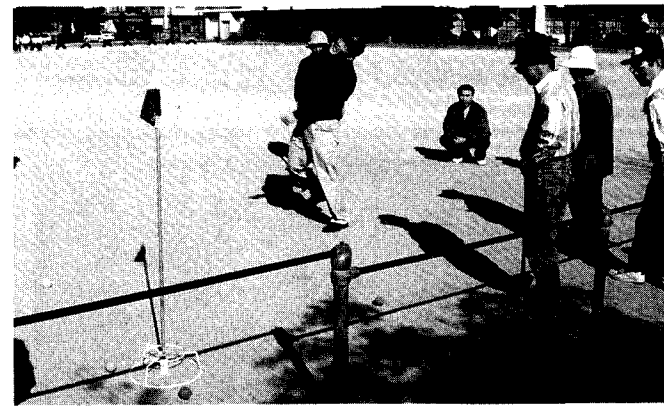
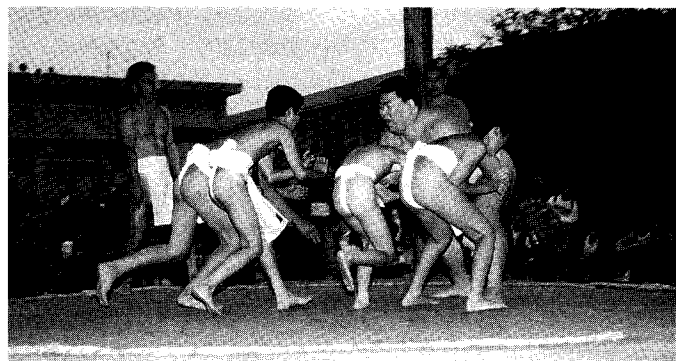
貴闘力関、土俵にかけた青春

青少年健全育成講演会

小学校相撲クラブの児童らが、関脇、貴闘力 忠茂関(本名:細谷忠茂さん)に挑戦、その後、講演会。と九州場所終了後の11月26日、青少年健全育成講演会が行われました。

小学校グラウンド内にある土俵を使って行われた稽古には、16人の相撲クラブ員と小学5、6年生希望者が、貴闘力関ほか二力士とぶつかり稽古を体験。児童を代表して阿部勇二君(小6)は、「今日は稽古をつけてもらって、ありがとうございました。少しの時間でしたが、ぼくたちのいい思い出になりました。貴闘力関も、もっと強くなってください。ぼくたちも稽古に励みます。」と力強いお礼の言葉を述べました。

会場を総合会館に移して行われた講演会には、「満員御礼」なみの多くの方が訪れました。講演の内容は、貴闘力関がいじめられないために相撲を始めたきっかけや相撲界のきびしさなど、裏話などを交えユーモラスたっぴりに語りました。関取本人の得意技、突き押しどおりの人生観を集まった人たちに披露した講演会でした。



2年ぶりの組対抗!盛り上がりましたヨ。

三区ふれあいグラウンドゴルフ大会

「かぁーおし〜い!! 強かったパイ。」と、ギャラリーが見守るなか、惜しくもはずした場面をパチッ!!

写真は、11月24日、小学校グラウンドで行われた「三区ふれあいグラウンドゴルフ大会」での一コマです。

この大会は、区民の親睦とふれあいを目的に始められたもので、昨年雨のために中止のため2年ぶり8目を迎えました。

出場チームは10チーム。各組から選りすぐりの代表60人余りが、熱戦を繰り広げました。

1ラウンドを負えた時点での、「わが組の順位は?」……。得点ボードの周りにはみんなが集まり、「あぁ〜、これだためパイ」「この調子、この調子」「審判、買収したか?」などなど、舌戦もなかなかのものでした。勝敗そのものより、「その後の打ち上げ会の実力も評価してほしい」とか冗談も飛び出す、楽しい一日でした。

グッ、ショット!!

ふれあいグラウンドゴルフ大会



田川地区促進協議会、人づくり部会主催による「田川地区ふれあいグラウンドゴルフ大会」が、11月24日、金田ふれあいスポーツ公園を会場に行われました。

田川市郡の各町村から、ジュニア、一般、シニアの計22チーム、約150人が参加しました。金田町からも、三つの部に出場し、8ホール、2ラウンドを競技。成績は、一般・シニアの部では惜しくも入賞を逃しましたが、ジュニアの部で、見事に優勝の栄冠に輝きました。

シニアの部に出場している方の、スティックさばきはお見事の一言。

この日の、ホールインワンの数は16コ。なんと一人で3回の記録を出した人もいるなど、高レベルな試合展開となりました。

「昨日初めて、練習してきました。」と、超初心者からベテランまでがいっしょに楽しめた大会でした。



ロスの小室哲哉氏と対話!

こねっと・プラン キックオフセミナー

文部省の協力により進めている「こねっと・プラン」の立ち上げを記念したキックオフセミナーが、11月27日にインターネットの利用し、全国の小・中・高校各学校が参加して行われました。

このセミナーには、金田中学校も参加。中学校パソコン教室には、生徒、父母のほかパソコン教室の受講者などが集まり、セミナーを体験しました。



特別企画(バーチャルセミナー)には、ロサンゼルス的小室哲哉氏がインターネットを利用して講演。金田中学校を代表して、3年生の大井忠賢君と吉田英樹君が「曲作りはどのようにしていますか。」などと会話。生徒たちの質問に小室氏が答えるといった対話が行われました。

インターネットを利用して、全国各地の学校との交流や金田中学校から世界に向けての情報発信など、生徒たちは、ますます自分の世界が広がっていきそうですね。

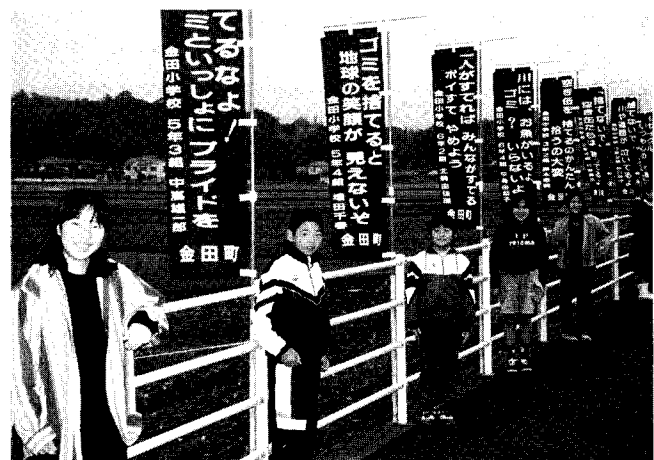
捨てないで! ごみ わたしたちからのお願い。

「ごみを捨てない運動」標語表彰式

小、中学生から募集した「ごみを捨てない運動」の標語の優秀作品の表彰式が、11月29日に行われました。

この標語は、小学4年生から中学3年生を対象に募集。「すてるなよ! ゴミといっしょにプライドを」などの10作品が優秀作品に選ばれました。また、表彰式の後、出席者全員で上金田の県道沿いに、標語が記入された青と緑ののぼりを10本設置しました。優秀作品は下記掲載のとおりです。

こののぼりは、ごみが大量に不法投棄された神崎の農道や町道など14カ所にも10本づつ設置されます。このほか、不法投棄を警告する看板を設置します。



●標語優秀作品●

- すてるなよ! ゴミといっしょにプライドを
中嘉雄一郎くん(小5)
- ゴミを捨てると 地球の笑顔が見えないぞ
堀田 千春さん(小5)
- 一人がすてればみんながすてる ボイステヤめよう
北崎由佳理さん(小6)
- 川には、お魚がいるよ ゴミ? いらないよ
平島由起子さん(小6)
- ポイ捨ては環境こわす 悪い奴
吉田 佳代さん(小6)
- 私たちは 美しい町とともに育っていく
桑野 加奈さん(中1)
- 「捨てないで」 空き缶たちは言ってるよ
竹宗 美沙さん(中2)
- 捨てないで! 川や道路が泣いてるよ
谷口 理沙さん(中3)
- リサイクル いつも心の片隅に
浜田 光治くん(中3)
- 空き缶を捨てるのかんたん 拾うのたいへん
勝木 絵美さん(中3)



ヴァイオリンの調べ。 紙面で伝えられないのが残念! 日本フィル音オルグ

2月21日、田川文化センターで開かれる日本フィルハーモニー「第22回九州公演」のPR(音オルグ)のため、12月2日・3日ヴァイオリンとピアノのアンサンブルが田川市郡5カ所で行われました。

写真は、庁舎1回ロビーで12月2日に行われたものです。フィルメンバーの松本克巳さん(ヴァイオリン)と阿部由紀子さん(ピアノ)が、ベートーベンのヴァイオリンソナタや、ディズニー映画の「ピノキオ」のテーマソング「星に願い」など全6曲を演奏。金田保育園さくら組、18人の園児を含む40人程が、お昼休みのひとときを楽しみました。ヴァイオリニストの松本さんは、阪神大震災の救援演奏活動や坂本 堤弁護士所有のヴァイオリンで追悼演奏など、地域に根ざした演奏活動を行っています。広報で、音を伝えられないのが残念です。

田川公演の入場券のお求めは、日本フィル田川公演実行委員会(☎44-6139)までお問い合わせください。



雪の中を力走! 見事3位入賞!! 田川郡町村対抗駅伝大会

「第31回田川郡町村対抗駅伝大会」が、三部門21チームが参加して12月1日に行われました。

今大会は例年どおり、添田町上津野農協から香春町役場までの5区間21.2Kmのコースで行われる予定でしたが、当日の積雪のため、香春町役場をスタート(ゴール)し赤村分校折り返す5区間19.8Kmにコース変更。金田町から青年の部で出場した5人が、見事3位入賞の輝かしい成績を収めました。おめでとうございます。

汚水、流すだけでいいんですか?

河川水質調査



家庭から川に流れ出る排水などを調査して、その汚れぐあいを知ろうと12月8日、河川の水質調査が金田町河川公園維持管理要項策定委員会(久保 富美雄委員長ほか31人)が主催して行われました。

この調査は、彦山川・中元寺川・沁川の三つの川の水や排水口で採取した水、町内15カ所で午前9時一斉に採取。このほか各河川の源流などあわせて21カ所から集めたものを、庁舎前広場で約60人が参加し検査が行われました。

検査項目は、透視度、DOなど6項目。結果は表のとおりとなり、今回の調査では、宝見橋上流や島田川出口などから採取したものに汚れが目立ちました。

参加している皆さんは、この結果に「人口が集中して流れ出る排水口の汚水は、何とかなくては」など感想の話していました。

中元寺川では、2月中旬には「生活排水重点地域」に福岡県より指定される予定です。また、この生活排水の問題については、広報カナダ3月号で特集を組みたいと思っています。



三河川の水質調査結果表

地区名	採取場所	検査結果					
		透視度	DO	pH	COD	リン酸	におい
彦山川源流	英彦山竜門キャンプ場	40	9.5	6.9	2.0	0.2	なし
彦山川中流	伊田新橋上流	40	9.3	6.8	1.0	0.2	少し有
平原	金田大橋上流	40	8.9	6.8	2.5	0.2	なし
上金田	亀ノ甲団地裏	39	6.0	6.9	4.5	0.5	少し有
宝見	宝見橋上流	8.5	5.8	7.0	2.1	0.5	強い
中元寺川源流	陣屋ダム下流	40	9.2	6.8	2.0	0.2	なし
中元寺川中流	後藤寺桜橋上流	40	8.9	6.8	2.0	0.2	有り
東、西金田	神田橋上流	40	5.3	7.0	2.0	0.4	やや有
福丸	神田橋下流	40	8.5	6.8	2.5	0.7	少し有
三区	島田川出口	23	6.8	7.0	3.0	0.5	やや生ぐさい
高見町	東西金田踏切	40	4.8	7.0	4.0	0.2	くさい
四区	人見鉄橋上流	40	7.6	6.9	2.0	0.5	少し有
人見	五反田水路出口	40	8.1	6.9	6.0	0.2	やや有
沁川源流	糸田町沁源水	40	9.7	6.8	2.5	0.2	なし
七十石	谷川橋上流	40	7.9	6.9	2.0	0.0	なし
南木	田中橋横	40	7.7	6.9	3.0	0.2	少し有
太陽	飯土井神社正面	40	7.7	6.9	2.5	0.0	少し有
神崎一	神崎大橋横	40	7.6	6.9	2.0	0.2	生ぐさい
神崎二	内ノ丸橋横	40	7.7	6.9	1.0	0.2	なし
福吉	神崎保育所下流	40	9.2	6.8	4.0	0.2	くさい
	赤池新橋上流	40	16.3	7.0	3.0	0.2	なし

人の健康を保護し、生活環境の保全する上で維持されることが望ましいとされる基準を、国が示す環境基準としてそれぞれに定められています。

そのなかで、河川の水質基準は6種類があり、彦山川、中元寺川はB類型。その内pHなどの基準値が定められています。

溶存酸素量(DO)

水中に溶解している酸素の量のことで、通常のDOは、8.8mg/lで、その値より低下すると生物

が生きられず、2mg/lで悪臭が発生します。基準値は5mg/l以上。

水素イオン濃度(pH)

水の酸性、アルカリ性の度合いを表す数値です。中性の水が7pH。それより値が小さければ酸性が強くなり、大きいほどアルカリ性(塩基性)が強くなります。基準値は5.8~8.6pH。水は動植物は、中性に近いほどよいとされています。

化学的酸素要求量(COD)

水中の有機物(汚濁物質)を酸化剤で酸化するのに消費される酸素の量です。有機物が多いほど値も高く、水の汚染度を示す数値となります。湖沼・海域の汚濁指標として用いられ、河川には基準値はありませんが、湖沼でも最も厳しい基準は1ppm(1リットルの水の中に1ミリグラムの酸素が必要ことを表す)です。

透視度

センチ幅のついたメスシリンダーに、水を注いでシリンダーの底にある十字線がどこまで見え

るかを検査したものです。数値が低いほど水が濁っていることを示しています。今回400CCまでを測定。

リン酸

主な発生源としては、農業や化学工場の排水が原因だといわれています。環境基準では「検出されないこと」。排水基準では1mg/l以下とされています。

におい

40度まで水の温度を上げて、鼻で嗅いで測定しました。